

# 礼拝プログラム

2019年2月17日

**司会:** 大野兄 **奏楽:** 石塚姉 **通訳:** 石塚兄

**賛美:** Hymn

**使徒信条:** \* Apostle's Creed

**アナウンスメント:** Announcement

**牧会祈禱:** Pastoral Prayer

**感謝献金:** Offering

**メッセージ:** Sermon

「愛には制約がある」

"Love is Conditional"

**賛美:** Hymn

**頌栄:** Doxology

**祝禱:** \* Benediction

\* 印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。

Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

**アッシャー:** 川久姉、スカーレット姉

**グリーター:** 本多姉、コート姉

**ナーサリー:** 石井姉、ウィットワース姉

**チルドレンチャーチ:** 大倉姉、奏姉

**セキュリティ:** 川久兄

## 来週、24日の礼拝

**司会:** 本多兄 **奏楽:** ヴォット姉 **通訳:** 大倉師

**メッセージ:** 「新しい身分に生きる」

**賛美:** 新聖歌426、新聖歌262

**アッシャー:** 川久姉、スカーレット姉

**グリーター:** 本多姉、コート姉

**ナーサリー:** 本多姉、奏姉

**チルドレンチャーチ:** プロクター姉、ルイス兄

**セキュリティ:** ウォーカー兄

## おしらせ

本日の礼拝後の予定  
コーヒアワー、男子会、婦人会

■礼拝によろこそいらっしやいました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■本日、午後12時30分から14時までイースターセッションのゴスペルフラの練習がもたれます(4月14日までのセッション)。この度は「Lord, I believe in You」という曲を練習し、4月14日のイースターピクニックで踊る予定です。詳細はスコット姉まで。

■4月12日(金)、午後7時よりグッドフライデー礼拝をもちます。昨年のように今年もイエス様の十字架の七言を七人の人がシェアできたらと願っています。今年、日語部に割り当てられているイエス様の言葉はルカ23章43節『よく言うておろが、あなたは今日、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう』、マタイ27章46節『わが神、わが神、どうして私をお見捨てになったのですか』、ヨハネ19章30節『すべてが終わった』です。シェアをなさりたい方は牧師までお知らせください。

■1月30日に召されたイグナシオ勝美姉のメモリアルサービスが今週土曜日、2月23日の午後5時に以下の教会でもたれます。ご家族の上に天来のお慰めと平安がありますようにお祈りください。

South Bay United Pentecostal Church  
395 D Street, Chula Vista, CA 91910

■今年のイースター(4月21日)に向けて、洗礼、入会を希望する方、あるいはこれらのご質問のある方は執事、牧師までお気軽にお声をおかけください。喜んでお手伝いをさせていただきます。

## 今週の予定

20日(水) 水曜集会 7:30pm

21日(木) 木曜集会 10:30am

24日(日) 日語執事会

## 英語不慮

英語で「考える」とは「THINK」です。この英語、何かに似ていませんか。そうです、「THANK」です。言語学的に“THANK”という言葉は“THINK”という言葉と同じ語源だといえます。このことは「感謝」とは「考え」ない限り、生まれてくるものではないということを暗示しています。

偉大な牧師でありましたポーロ・リース牧師(Dr. Paul Rees)の実話に、ある精神的な病気を抱えている患者を病院に送り届ける仕事をしている男の話があります。

ある時、その男はいつものように一人の患者を病院に送り届け、駐車場に戻ります。すると「ヘイ・ユウ」という声が頭上の窓から聞こえます。誰かと思いきや数分前に送りとどけた患者が病室の窓からこっちを見えています。

「私を呼んだのかい?」「そうだよ」「どうしたんだ?」「一つだけ聞きたいんだ。あなたはこれまで健康な心を持っているということについて神に感謝をしたことがあるかい」。

車の座席に座った彼は完全に打ちのめされてしまいました。彼は15年間、毎日、この病院に多くの患者を送りとどけてきました。しかし彼は一度も自分の心と精神が支えられているということに感謝したことがなかったのです。すなわち、彼はそのことについて考えたことがなかったのです…。

『わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんなに大きな愛を父から賜ったことか、よく考えてみなさい』(1ヨハネ3章1節)